

淀駅付近立体交差化工事

現在は、京阪本線淀駅付近の立体交差化事業を進めています。これは、京都市の都市計画事業として、京都競馬場の最寄り駅である淀駅を中心に京阪本線約1.5kmを高架化する事業で、平成25年度の完了を目指しています。

すでに上下線が高架線に切り替わりました。この高架化により3カ所の踏切道が廃止され、交通渋滞の緩和や運転保安の向上が実現しました。



高架化された淀駅

平成24年度 安全重点施策の目標

踏切の安全性向上

昨年度に続き、踏切支障報知装置、全方向型踏切閃光灯の設置と淀高架化工事を進め、踏切の安全性を向上します。

火災・自然災害対策の推進（地震、風、雨など）

気象観測機器

当社では、各種気象観測機器として風速計16カ所、雨量計4カ所、河川監視カメラ3カ所、地震計8カ所を沿線に設置しています。



気象状況表示装置



雨量計



温湿度計



風向風速計

耐震補強

運転保安上必要な駅施設の耐震性能向上を目的に耐震補強を行っています。

平成23年度は香里園駅の耐震補強工事を行いました。



橋上駅舎への耐震補強部材の設置状況



▶ 高架橋耐震補強

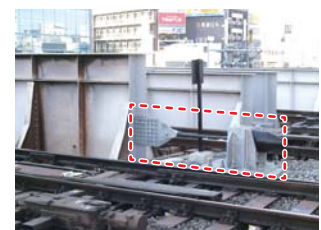
阪神淡路大震災以降、地震に対する安全度を向上させるため、耐震補強を進めています。



高架橋耐震補強

▶ 落橋対策

落橋防止装置とは大規模地震時に橋桁が橋台から落下するのを防ぐためのものです。阪神淡路大震災以降、これらの装置を設置しています。



JR環状線跨線線路橋